お客様各位

■□＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
□
株式会社　京浜予防医学研究所

■□　ＫＭＬメールニュース　□■　　◆◆　VOL.104　◆◆

□
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□■

□■
株式会社　京浜予防医学研究所　よりお知らせ致します！
2022年 7月 30日発行
□■ https://www.kml-net.co.jp/

ＫＭＬメールニュース VOL.104 をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の
一助としていただければ幸いでございます。

☆★　トピックス　★☆

【１】スギ・ヒノキ花粉シーズン後の花粉症
【２】ＫＭＬインフォメーション　５月～７月分のお知らせ

１　スギ・ヒノキ花粉シーズン後の花粉症

【スギやヒノキ花粉症だけではありません】
５月以降にも、スギやヒノキ花粉症が長引いていると自己判断している方は結構多いのではないでしょうか。
実際に検査すると、スギには感作されてなく、スギ以外のアレルゲンに重複して感作している場合が少なからずあります。
例えば、スギ花粉症と自己診断していた人の21％がスギ陰性であり、さらにスギ感作例においても79％はヒノキかカモガヤのいずれか、またはその両方に感作していたという報告があります１）　。
カモガヤ等のイネ科は、ヒノキ科（スギ・ヒノキ）に次いで感作例が多い花粉アレルゲンです。
イネ科花粉症は若年者の感作・発症例が占める割合が高く、アナフィラキシー誘発の報告もあるため注意が必要です２）。

【感作抗原を知ることが大切です】
患者さんが何に感作しているかを正確に知ることで、的確な生活指導ができます。
アレルギー治療の基本はアレルゲン回避をベースにした生活指導です。
具体的な例をあげると、イネ科、キク科等の草本植物は、数１０～１００メートル程度しか花粉を飛ばさないため２）、花粉飛散時期には道路脇、公園や河川敷といった群生地に近づかないことが第一です。
つまり何キロも花粉を飛ばすスギなどの樹木花粉とは異なるアレルゲン回避策が必要になります。このようにイネ科、キク科等の草本植物に感作している患者さんと、スギ単独感作の患者さんの指導は異なります。

【抗原の特定は花粉・食物アレルギー症候群の診断に役立ちます】
患者さんの花粉アレルゲンへの感作状況を知ることは、最近多くみられる口腔症状を有する花粉・食物アレルギー症候群（PFAS）の診断に役立ちます。
PFASとは特定植物の花粉に感作することにより、交差抗原性の高い果物や野菜に対し口腔内アレルギー症状を呈することです。
例えばイネ科花粉に感作するとメロン、スイカ、キウイに、キク科花粉であればセロリ、ニンジン、メロン、スイカなどに口腔アレルギー症状が出ることがあります。
このように、この時期の花粉アレルゲンの検査は患者さんの生活・食事指導に活用でき、QOL 改善に役立ちます。
日本ではスギ・ヒノキ花粉症の認知度が高く、患者さんはアレル

ギー症状をスギ・ヒノキ花粉症のみに結びつけがちです。
しかし、アレルギー性疾患の効果的な生活指導を行うには、問診による原因アレルゲンの推定と、検査によるそれらに対する感作確認に基づいた原因アレルゲンの診断が大事です。

http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/allergy2022-07.png

【ダニ、ペットなど通年性アレルゲンにも注意が必要です】
アレルギー性鼻炎では70%程度に重複感作が報告されています３）。
これからの季節、通年でみられるダニ・ペット・昆虫由来のアレルゲンなどを含んだハウスダストに加え、初夏にかけてのカモガヤなどのイネ科花粉、さらに秋にはヨモギ・ブタクサなどの雑草が原因アレルゲンになることがあります。
何が原因でアレルギー症状が発現する可能性があるのかを知っておくことは、症状が起きている時だけではなく、その後の発症の予測や治療の方針を立てるためにも重要と言われています。

CAP16　鼻炎・喘息　　（項目コード2440　）

季節性抗原（花粉飛散時期）		通年性抗原
スギ	（2-4月）	ハウスダスト１
ヒノキ	（3-5月）	ヤケヒョウヒダニ
ハンノキ	（1-5月）	ネコ皮屑
カモガヤ	（5-8月）	イヌ皮屑
ブタクサ	（8-10月）	カンジダ
ヨモギ	（8-10月）	アスペルギルス
ガ	（初夏・秋）	アルテルナリア
ユスリカ	（初夏・秋）	ゴキブリ

参考文献
１）荻野敏　他：耳鼻臨床　94（12）：1073-1078, 2001
２）岡野光博：治療　93（３）：395-400, 2011
３）奥平博一他：アレルギー　40（５）：544-554, 1991

２　ＫＭＬインフォメーション　５月～７月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「ＫＭＬインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用していただければ幸いです。

2022年 7月７日　検査内容変更のお知らせ
https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2022-0707.pdf

■□＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

＼／　最後までお読みいただきまして有り難う御座いました。

編集／発行　https://www.kml-net.co.jp/
株式会社　京浜予防医学研究所
〒216-0042　神奈川県川崎市宮前区南野川　3-22-1

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□■